

JR東日本労働組合

秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 笹渕 太郎

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら!

申6号提出!

コロナ禍における疑問を解決しよう!!

1. コストダウンと称し、節約を奨励しておきながら、年度予算を使い切るために物品の購入をしている実態がある。矛盾していると考えるが、見解を明らかにされたい。
2. 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置地域での研修は、支社から本社に対して見直しを要請されたい。
3. 厳しい経営局面であっても、超勤は恒常化している職場がある。管理者の判断と承認行為が形骸化していないのが支社として点検されたい。
4. 「共用使用」としている被服類を個人貸与とされたい。
5. 職場によって不織布マスクが支給されているが、対応が違っており支給が止まった職場もある。支給促進を支社から伝達するなど、社員の負担を軽減されたい。また支給にあたっては耳が痛くならないマスクを選定されたい。
6. 比較的乗降の多い駅の改札口に非接触型検温装置を設置されたい。
7. 職場手洗い場に液体バンドソープの常備と、自動水栓化を順次施工されたい。
8. 新型コロナワクチンの職域接種が開始されたが、各職場接種のスケジュールを明らかにすると共に、支社内で接種を行う予定があるのが明らかにされたい。

以上。

ワクチン接種、オリンピック・パラリンピック開催、新型コロナウイルスの再拡大等様々な不安や疑問を皆さんは抱えていると思います。私たち組合は、そういった社員の声を会社へ直接届けるための橋渡しを行っています。是非、直接では聞きにくい疑問や不安があればお近くの組合員へ話してみてください。皆さんの悩みを少しでも解決することができるよう、私たちは組合員全員で一致団結し、赤字下においても安心して働ける職場を目指し奮闘していきます。

